

冠婚葬祭・介護で人をつなぐ

 117グループ



冠婚葬祭・介護で人をつなぐ

**117** // IINA 117グループ

# ブライダル

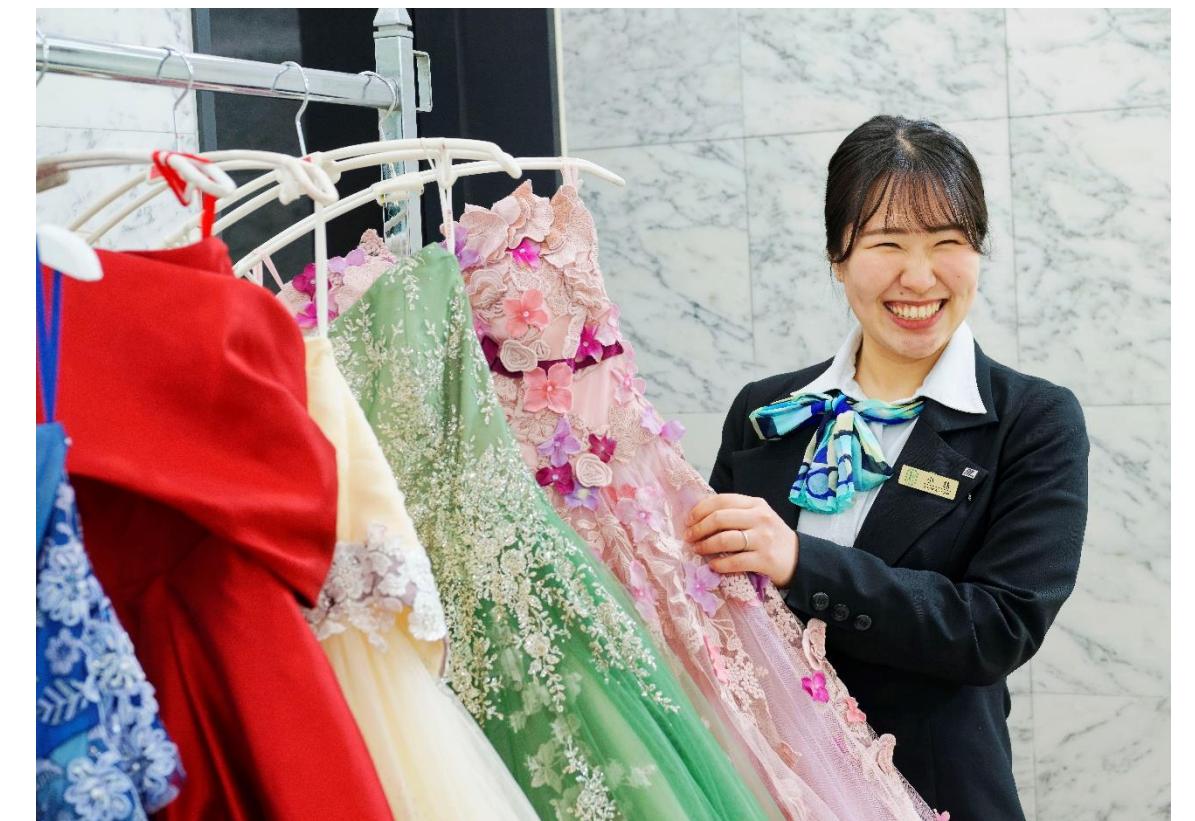
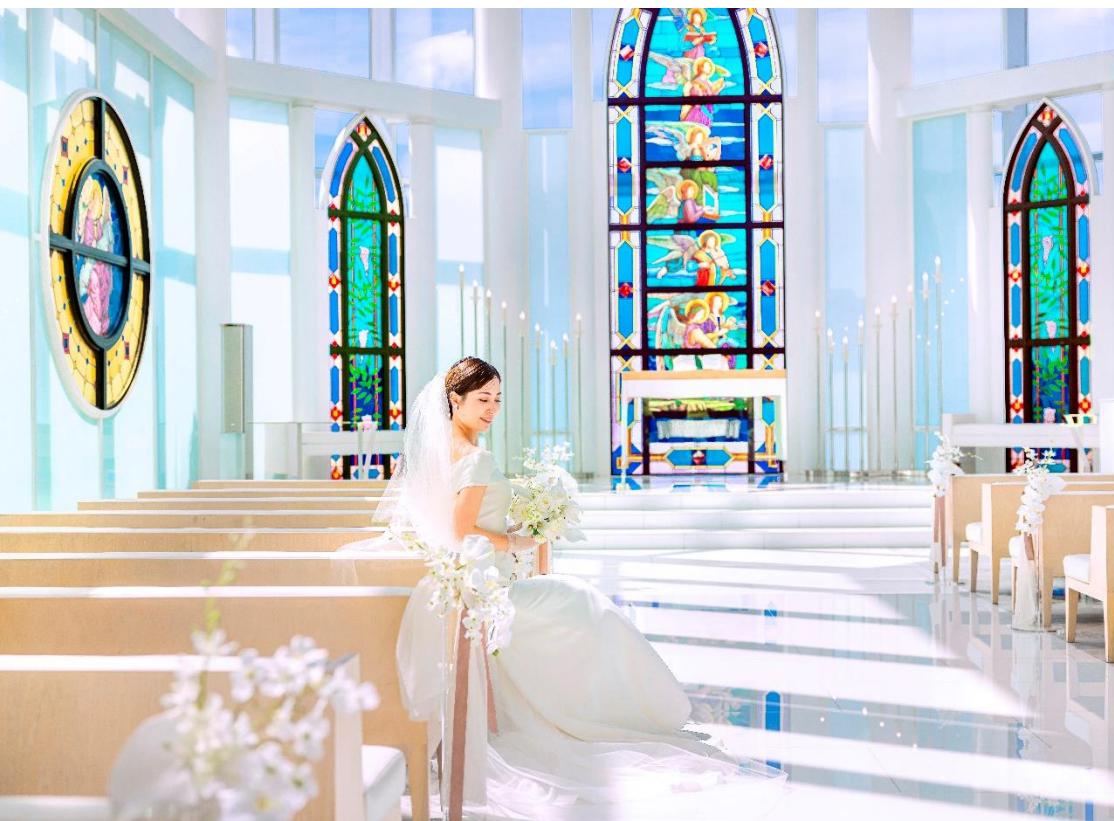
結婚式、披露宴  
パーティ、貸衣裳  
結婚式場運営



*La Viena*  
Wedding Manor House



ラ・メゾン Suite



# フューネラル

葬儀、法要、生花  
葬儀会館運営  
旅客運送

セレモニーホール  
**大和食館**  
やわらぎホール



# ウェルネス

グループホーム  
デイサービス  
小規模多機能ホーム 等



リハビリステーション  
ヘルスポート





## 姫路市 S D G s 宣言書



117グループ  
は S D G s 宣言します



災害時に備え、水・食料等を備蓄しています (400名3日分)



前月、時間外労働時間が45時間を超えた人には翌月のシフト等で調整を行っています。また、変形労働時間制を導入し、過重労働の予防に取り組んでいます



トライやる・ウィークやインターンシップの受入れをしています。また、葬祭ディレクター等の資格取得に向け社内で研修・教育をし、費用も会社で負担しています



LED電球を使用し、電気量の削減に取り組んでいます。また、デマンドコントローラーや太陽光パネルを設置しています



和交会（社員会）による福利厚生の充実。親睦会や旅行、ゴミゼロハイキングやボウリング大会など多数の行事を通して社員同士の親睦やリフレッシュを図っています



献血活動をグループ施設にて1986年から毎年実施しています (2021年は421名で166,800ml)



CO2排出削減のためドライアイスからエコアイスへ変更しています



コンプライアンスを周知徹底する為、ハラスメント研修、個人情報保護研修、社内で発生した事故やミスの事例を教材にした研修等を実施しています

2022年1月17日

117グループ

代表 山下 裕史



姫路市キャラクター しろまるひめ

# 117 グループの取り組みの紹介

**11** 住み続けられる  
まちづくりを



**2** 飢餓を  
ゼロに



**4** 質の高い教育を  
みんなに



# 互助会営業

冠婚葬祭にともなう  
会員募集  
各種イベント企画・運営

**117**  
株式会社  
**117**  
システム



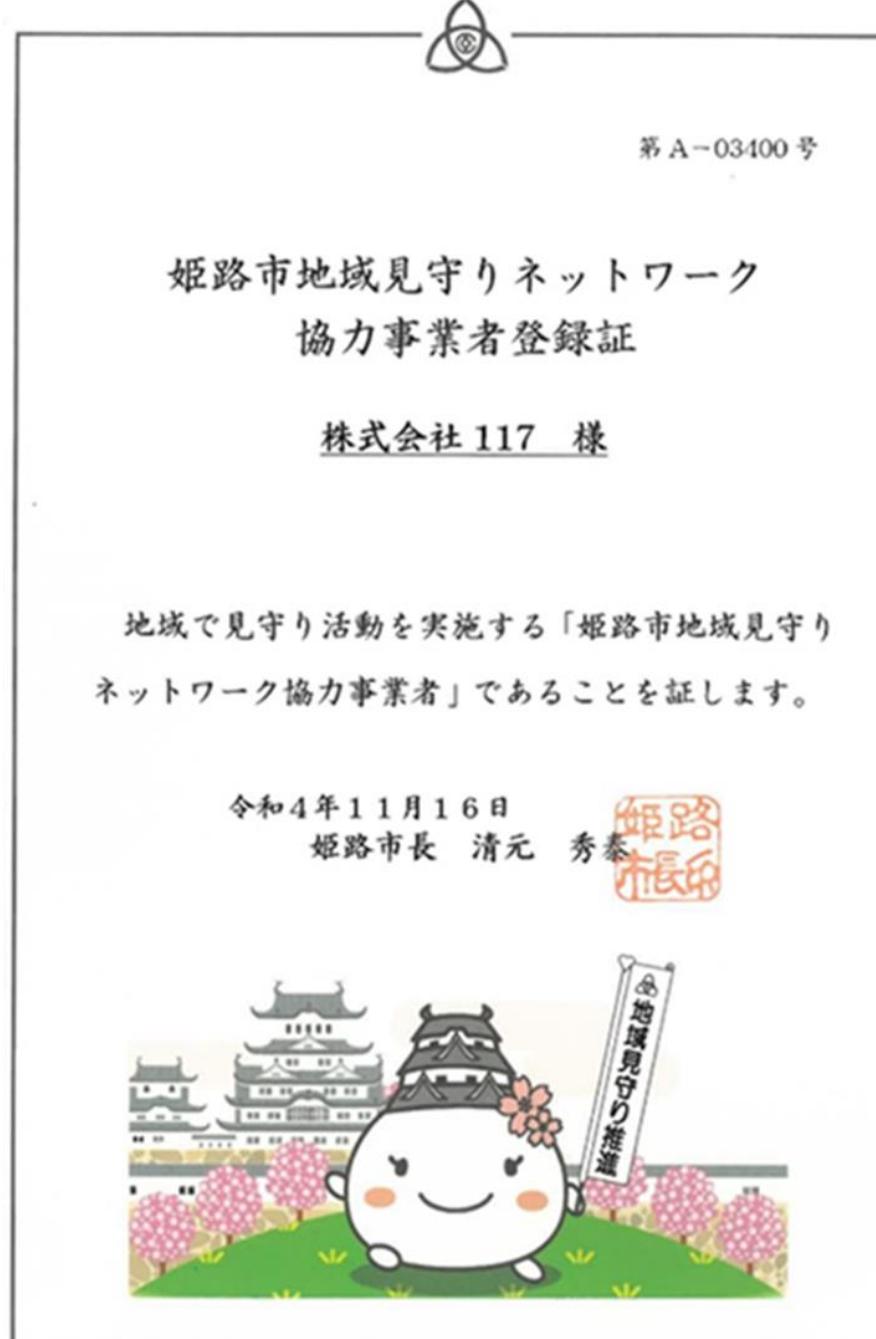
# 地域見守りネットワーク事業

誰もが住み慣れた地域で  
安心して暮らし続けることができるまちづくり

行政・団体・民間事業者・地域住民などが連携して  
地域の高齢者・障害者等を日常生活の中で見守り  
異変に気づいた場合に各市町へ連絡することにより  
必要な支援へ繋げていくための事業



# 地域見守りネットワーク事業



2019年より  
各市町と協定を締結し  
姫路市とも  
2022年に締結しました  
現在、12市町

- 11 住み続けられるまちづくりを
- 2 飽飯をゼロに
- 4 質の高い教育をみんなに

# 子ども110番の家

**「子ども110番の家」**

**「子ども110番の家」とは**  
子どもが「誘拐や暴力、痴漢」など何らかの被害に遭った、または遭いそうになったと助けを求めてきたとき、その子どもを保護するとともに、警察、学校、家庭などへ連絡するなどして、地域ぐるみで子どもたちの安全を守っていくボランティア活動です。

**活動の内容**

- 犯罪等の被害に遭い、または遭いそうになって救助を求めてきた子ども等の保護
- 事件・事故の発生を認知したときの110番通報、学校、家庭への連絡
- 日常生活のなかで、近所に子どもたちが被害に遭いそうな危険な箇所等を見た場合の連絡

**活動上の留意事項**

- 子どものプライバシーを尊重し、秘密を守りましょう。駆け込んできた子どもがたとえ顔見知りであっても、その内容を容易に近所の人に話すことのないよう、注意してください。
- 子どもの立場にたった思いやりのある対応を、心掛けましょう。
- 自分で犯人（不審者）に立ち向かおうなどという無理な活動は、決してしないようにしましょう。

**対応要領**

子どもが助けを求めてきたら、まず家の中に入れて保護してください。

- 1 まず自分が落ち着く**  
話を聞く側があわてたり興奮したりしないよう、まず自分が落ち着いて子どもの話を聞いてあげましょう。
- 2 子どもを落ち着かせる**  
「もう大丈夫。」などとやさしく声をかけて子どもを落ち着かせてあげることが大切です。
- 3 子どもから話を聞く**  
裏面の聞きとりメモを利用して、子どもから話を聞いてください。  
「子どもから話を聞くときのポイント」
  - ・静かな場所で話を聞く。（落ち着いた雰囲気をつくる）
  - ・椅子にかけさせるなどして子どもと同じ目線で話す。
  - ・子どもの体調に気を配る。（気分が悪くないか、けがをしていないか等）
  - ・子どもの判断となるような具体的な例を挙げて尋ねる。
  - ・子どもにわかりやすくゆっくりと話す。（強い口調は控える）
  - ・無理に苦えを聞かない。（わからないことを何度も尋ねない）\*緊急の場合は、110番通報をしながら話を聞いてください。
- 4 110番通報する**  
「子ども110番の家」であることを告げ、あなたの住所、店名、氏名等を伝えてから聞きとり内容を順序よく話してください。  
※本人が落ち着いていて自分で話ができる場合は、直接本人に110番させてください。
- 5 警察等が到着するまで待つ**  
110番通報により、できるだけ早く近くのパトカーや警察官が駆けつけますので、家の中で子どもを待たせてください。警察官が到着したら、事情を説明してください。

2016年より  
「子ども110番の家」の取  
り組みを開始し  
地域の子どもを守る活動に  
参加しています

11 住み続けられる  
まちづくりを

2 飯碗を  
ゼロに



4 質の高い教育を  
みんなに



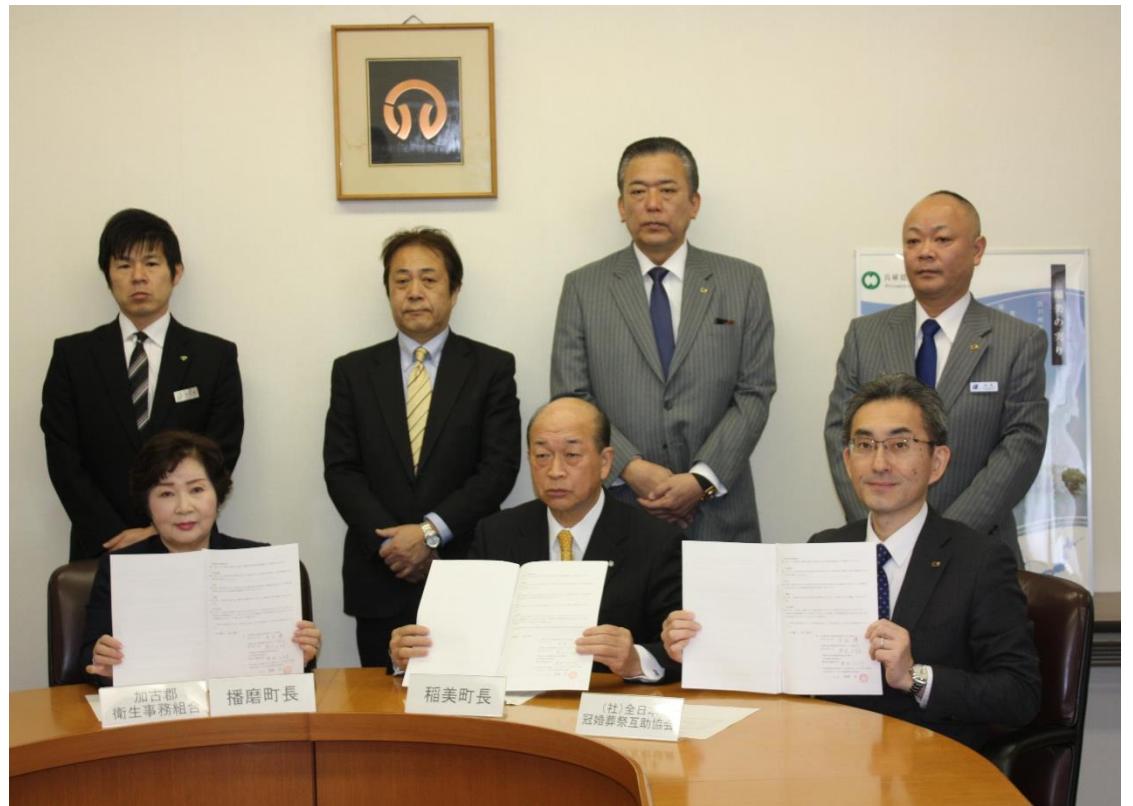
# 子ども110番の家



加盟施設には「子ども110番の家」ポスターを掲示し子どもが助けを求めてきた場合子どもの保護・110番通報等の対応を行いうようスタッフの教育を行なっています



# 災害時支援協定の締結



突発的な大災害時に被災者や遺族の方々への迅速な支援活動を行えるよう  
自治体と災害時支援協定を締結し、連携を進めています  
現在は兵庫県、和歌山県、姫路市、加古川市、高砂市  
播磨町、稻美町、太子町と締結しました



# 災害時避難



津波避難ビルの指定  
飾磨大和会館  
(立体駐車場)

南海トラフ地震など  
万が一災害が起こった場合でも  
地域の皆様が安全に  
避難いただける体制を  
整えています



11 住み続けられる  
まちづくりを



# 食料備蓄



災害時に備え、グループ施設5ヶ所で  
水・食料を備蓄しています（400名 3日分）



2 飢餓を  
ゼロに



# 運び出し訓練



運び出し訓練を定期的に実施し  
災害に対する適応能力・意識向上に努めています



11 住み続けられる  
まちづくりを



4 質の高い教育を  
みんなに

2 飢餓を  
ゼロに



# 冠婚葬祭・介護の仕事を次世代に伝える



昨年は12施設でトライやる・ウィークの受け入れを18校72名、  
インターンシップでは14校17名の学生を受け入れました  
さまざまな活動や体験を通して自分なりの生き方を見つけるきっかけとなるように取り組んでいます



# 献血活動



社会貢献の一つとして1986年から  
グループ施設にて毎年実施しています  
( 2023年は4会場 378名 122,000ml )



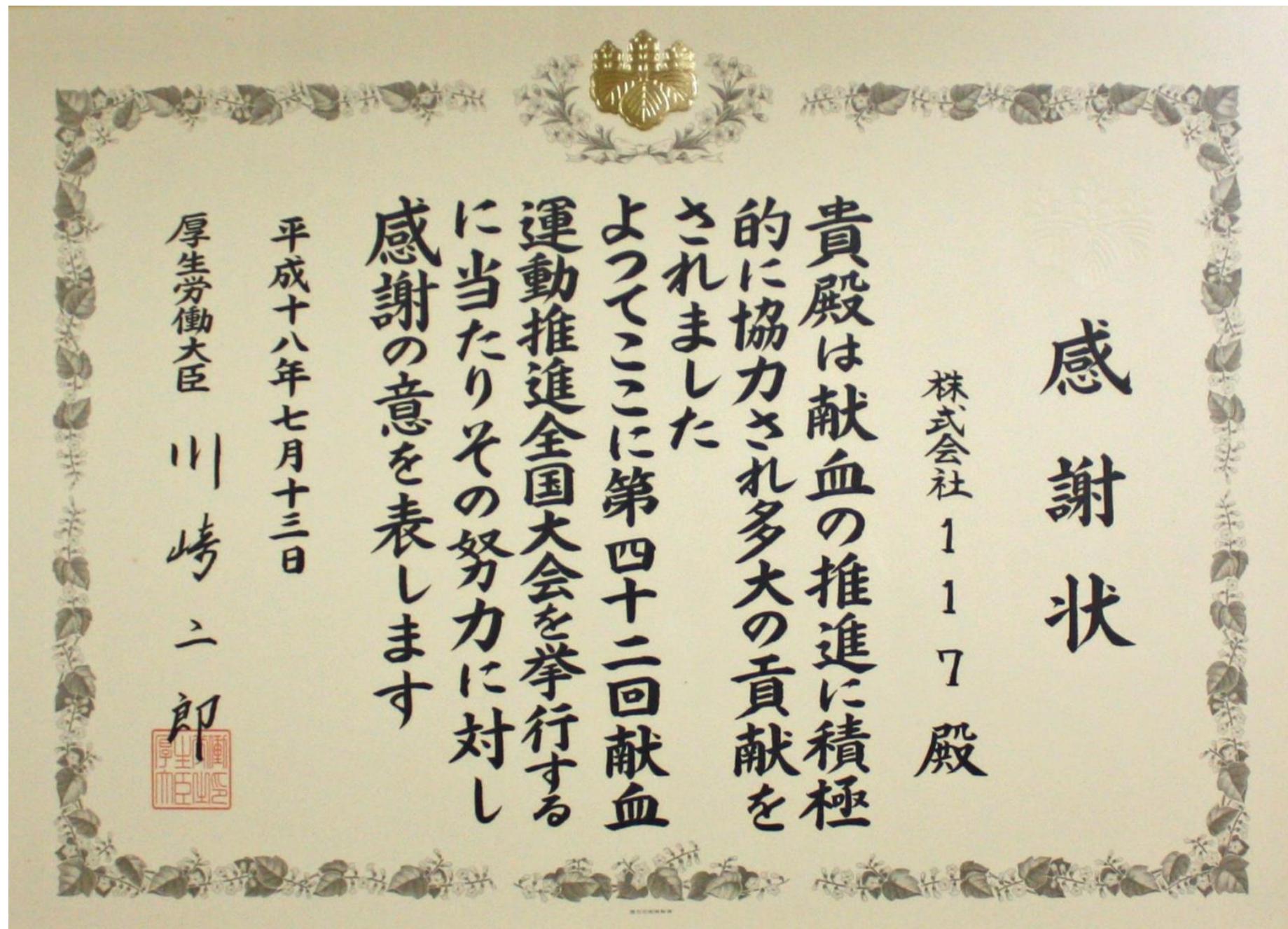
# 献血活動



2004年・2010年  
日本赤十字社から  
金銀の友功賞をいただきました

- 11 住み続けられる  
まちづくりを
- 2 飲食を  
ゼロに
- 4 質の高い教育を  
みんなに
- 

# 献血活動



2006年  
献血運動推進全国大会にて  
厚生労働大臣より感謝状を  
いただきました



# 献血活動



2023年  
多年にわたる功労に対して  
日本赤十字社より感謝状を  
いただきました



# 献血活動



献血は地域を選ばず誰でも  
参加できるボランティアです  
117グループ全体では  
延べ107回実施しています  
今年も1月6日に  
ラヴィーナ姫路で行いました

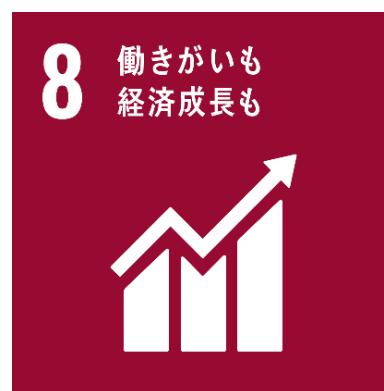


11 住み続けられる  
まちづくりを



# 冠婚葬祭・介護で人をつなぐ

私たち117グループは、冠婚葬祭・介護を通して  
ご家族や関わる方々の大切な思い出となる「つながりの場」が  
心に深く残り、明日に向かって生きる力を得られるよう  
「心のこもった温もりあるサービス」を  
心掛けてお手伝いすることによって  
「感謝の思いにあふれ、善の心が循環する心豊かな社会」の実現に  
取り組み、地域の方々・お取引先様・従業員と  
ご家族の幸せを追求します



# 冠婚葬祭・介護で人をつなぐ



# 117 グループ